

日本労働組合 評議会 関東金属労働組合 十五年度 議事録

一、開會之辞

組合長 森戸藤忠利君

昨年八月日関東鉄工組合、時計工組合、造船船工労働組合が合同して関東金属労働組合を創立して以来、支配階級の圧迫と凡庸の中傷ザンブの中に、本組合は異常なる発展を遂げることが出来た。如何なる圧迫があらうとも、如何なる中傷ザンブがあらうとも、六ヶ月間の此の発展を見る時は、我々がなしてゐることが如何に正しいかを発見するものである。實にわが関東金属労働組合は日本の金属産業に従事してゐる労働組合の中で最も戦闘的組合であることを発見するのである。今日の大会には多数の代議員諸君並びに傍聴者諸君の御出席を得ましたことを感謝いたします。本大会は次の大会までの運動方針を決定する重要な大会でありますから、代議員諸君はこれからの意識を高め、慎重審議されて、この半年間の行動方針を決定せられんことを希望して挨拶の辞とします。

不肖私は本組合規約第三十條によつて本大会の議長をとりたゞと思ひます。